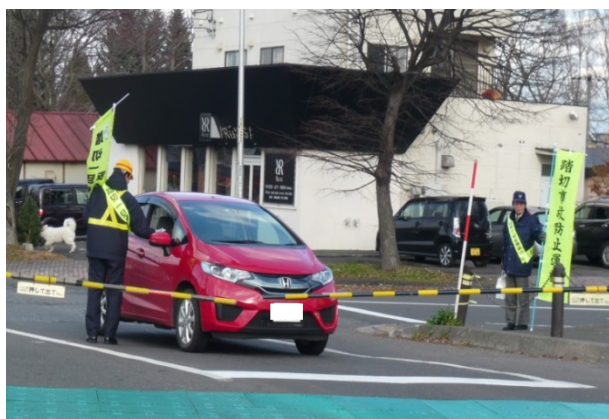


2018年11月5日

「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では本格的な冬を迎えるにあたり、北海道ほか主催の「冬の交通安全運動」の実施期間にあわせて、踏切手前でスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型」の踏切事故を防止するため、「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の踏切や駅で、ドライバーの皆様には「踏切手前では早めのブレーキで確実な一旦停止」、「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、また「車が動かなくなった時には非常ボタンや発炎筒等で列車を止める」ことなどを呼びかけます。



踏切事故防止キャンペーンの様子

■実施期間

2018年11月11日(日)から11月20日(火)までの10日間

■実施内容

- ◎「冬型」の踏切事故を防止するための取り組み
 - ・ 踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
 - ・ 列車内での放送での呼びかけ
 - ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
 - ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問しての呼びかけ
 - ・ ラジオCMの放送
 - ・ 旭川駅コンコースでのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

<冬期における踏切事故>

2018年度10月末時点における踏切事故は、発生していません。昨年の同時期では、3件の踏切事故が発生しております。冬期間における踏切事故の発生は、過去5年間の統計上で全体の約6割を占めております。踏切事故の多くは、踏切手前での一旦停止と安全確認を守ること、踏切事故を防ぐことができます。

冬本番を迎えるこれからの時期は、踏切手前で車がスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する等の「冬型事故」の発生が懸念されます。踏切手前ではスピードダウンと早めブレーキを心がけて通行するように呼びかけを行ってまいります。